


映画で観る世界～上映会&トークライブ～

日頃佐賀で見る機会の少ない国や地域の映画を通じて、異なる文化や習慣に触れてみませんか？佐賀県国際交流協会では、「2015さが国際フェスタ月間」の中で、県民が気軽に国際理解を深める機会として映画上映会を開催します。映画「HAFU/ハーフ」上映後は、出演者の須本エドワード氏をお迎えして、また「世界の果ての通学路」上映後は、元青年海外協力隊(ケニア派遣)をお迎えしてトークライブを開催！リアルな声をお届けします。

■ <第1部> 10:00～10:15 監督西倉めぐみTED×Kyoto:
『ハーフであることの意味を探し求めて』上映

■ 10:15～11:45 

『HAFU/ハーフ』～日本は多様化している Japan is Changing～

厚生労働省の統計によると、日本の新生児の49人に1人が、日本人と外国人の間に生まれています。ハーフであるとは、どういうことなのか？日本人であるという意味は？一体それは日本にとってどういう意味を持つのか？背景や国籍、年齢もばらばらな5組のハーフたちの本音に、自身もハーフである女性監督二人が迫った貴重なドキュメンタリー。(上映時間87分 2013年/日本)



■ 11:50～12:30

『HAFU/ハーフ』トークライブ

Guest: 須本 エドワード Guest MC: Jane Curtis (元佐賀県国際交流員)

須本エドワード: ベネズエラ人の父と日本人の母の間に生まれ、神戸で育つ。日本につながるのある多文化な人々が集うボランティア団体「ミックスルーツ・ジャパン」の代表として家族向けイベントやコミュニティラジオ番組、更には平成18年にNHKドキュメンタリーにもなったアート・音楽祭と青少年向け表現ワークショップ「Shake Forward!」を企画。現在は大阪大学や南カリフォルニア大学との協同企画で学術研究を立ち上げ、積極的な社会対話促進活動を行っている。



■ <第2部> 14:00～15:45  共催:JOCA九州

『世界の果ての通学路』～僕らの希望をつなぐ旅～

あなたは信じられますか。毎日往復30kmの通学路をたった4時間で駆け抜ける兄妹がいることを。見渡す限り人のいないパタゴニア平原を、馬に乗って通学する兄妹がいることを。どうして彼らはそんなに苦労してまで学校に行くのだろうか？別の大陸、違う言語、宗教、生活環境の中で暮らす4人の子供たちは、真っ直ぐな瞳で同じ思いを語る。(上映時間77分 2012年/フランス)



© 2013 - Winds - Ymagis - Herodiade

■ 15:50～16:30

『私が見たケニア』トークライブ Guest: 元青年海外協力隊ケニア派遣



■ 車でお越しの際は [商エビル前]、または向かいの[山木屋駐車場]、中央通の[唐人南]パーキングをご利用ください。無料駐車券をお渡します。
■ バス: 佐賀駅バスセンター乗車 約10分 「白山」または「エスプラッツ前」下車



日時: 2015年 10月10日(土) 入場無料
場所: 佐賀県聴覚障害サポートセンター
佐賀市白山2-1-12 佐賀商エビル 4F
定員: 50名 (※事前予約必須)
申込み: (公財)佐賀県国際交流協会
TEL: 0952-25-7921 E-mail: info@spira.or.jp

